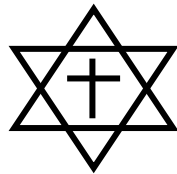


THE
THREEFOLD
NATURE
OF
MAN

人間の三重構造
第2巻



B. R. ヒックス

The Threefold Nature
of Man

人間の三重構造

第2巻

B. R. ヒックス



Christ Gospel Churches Int'l., Inc.
P.O.Box 786 Jeffersonville, Indiana 47131-0786

目 次

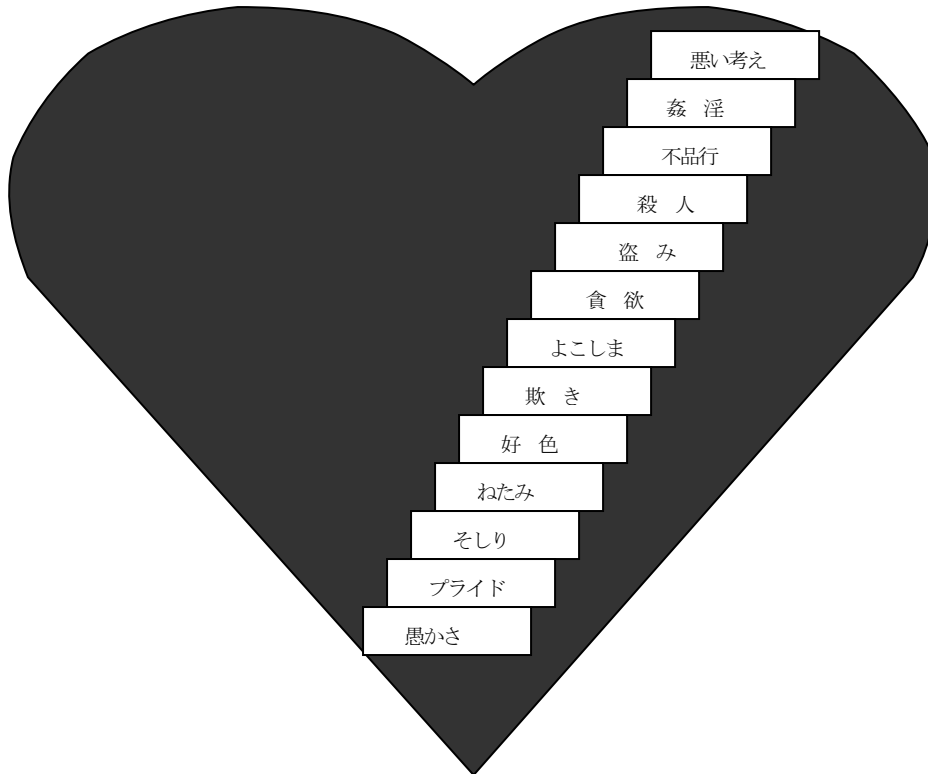
章		ページ
第IV部		
第12章	悪い考え	3
第13章	姦淫	17
第14章	不品行	23
第15章	殺人	27
第16章	盗み	33
第17章	貪欲	43
第18章	よこしま	69
第19章	欺き	95
第20章	好色	135
第21章	ねたみ	159
第22章	そしり	179
第23章	プライド	215
第24章	愚かさ	245

第IV部

人間の心

第12章

悪い考え



人間は、心をハブとして、意志を軸として、また五感を霊、魂、体を貫くスポークとして、車輪のように作られています。造りかえられていない人間の心について見て行きましょう。心とは、内側の部分、中心、または中央に最も近い部分、最も本質的な部分、核、エッセンス、本当の性質または気質、一番底にあるもののことです。人間がエデンの園で、神に対して罪を犯して追い出されたとき、その心は完全に腐敗し、神から離れてしまいました。心の墮落は潜在意識の中にあるので、人間には、それが強大な力を持っていることを納得するのは難しいことです。しかし、毒を持った体は、誰も見ている人がいなくても、その働きをやめたり死んだりすることはありません。木食い虫は、表面に何の穴がなくても板の中心を食べるように、肉の心も、外側では良く見えても、墮落が内側の深いところで進んでいるのです。

働きは、言葉より、もっとはっきりと証しします。私たちの心の状態は、語ること